

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

【評価実施日：令和3年2月20日】

	はい	どちらともいえない	いいえ	該当事象がない	コメント
環境整備・体制整備					
1 利用定員が指導訓練室などスペースとの関係で適切であるか	6				現在の利用者状況で広さの問題はありません。増設等は難しくても、遮音空間等の充実を図れるよう模索しています。
2 職員の配置数は適切であるか	6				安全性を考慮し、充分な人数での人員体制を心がけています。
3 事業所の設備などについて、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		6			・車椅子、段差などは問題ありません。・身体で介護が必要な方の受入れには厳しい環境ですが、現時点では該当者はおりません。・トイレについては男女共用のため不十分と考えております。
業務内容					
4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6				
5 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向などを把握し、業務改善につなげているか	6				3ヶ月ごとの面談にて、必ず保護者の方からの要望を伺う時間を設定しています。お迎え時にも、意向・要望を聞く体制を取っています。
6 この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6				
7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		6			ハッピーテラス本部による定期的な監査・評価があります。・保護者の評価も改善に役立てています。
8 職員の資質の向上をおこなうために研修の機会を確保しているか	6				・月1回以上は、市や福祉団体等主催のセミナー・研修会に参加しています。また、教室内での内部勉強会の充実を図っています。
適切な支援の提供					
9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6				利用者に向け、原則3ヶ月ごとにアセスメントを実施しています。電話連絡だけでなく、必要に応じて課題解決に向け早急に面談を実施しています。
10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6				
11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6				2ヶ月前における活動プログラムの立案から、トレーニング内容、参加する子どもたちの個々の課題やサポート内容に至るまで、チームとして取り組んでいます。
12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6				
13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6				
14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6				
15 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6				
16 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか	6				
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6				
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6				
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	6				

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

【評価実施日:令和3年2月20日】

	はい	どちらともいえない	いいえ	該当事象がない	コメント
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6				相談支援事業所のモニタリングは、積極的に受け入れています。日程を調整するなど、相談支援員と適任者との連絡は密に取っています。
21 学校との情報共有(年間計画、行事予定等の交換、下校時刻の確認など)、連絡調整(送迎時対応、トラブル発生連絡)を適切に行っているか	6				
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			3	3	事例がまだありません。(需要がありませんでした)
23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			6		・保護者の了承の申し出があれば、情報共有できる体制にあります。保護者の了解の基、学校とは必要に応じて適宜情報交換を行い信頼関係を築いています。
24 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか			5	1	
25 児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6				県内の研修に定期的に参加し、教室内で伝達研修を実施しています。
26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			6		・相手との連絡調整が困難ですが、交流快諾先があれば積極的に図っていきたいと考えています。・アポイントを取って交流することは現状ではありませんが、地域の公共施設の利用はしています。
27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			5	1	声が掛かった時には、いつでも参加する準備はできています。
28 日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6				保護者に、参加後には必ずトレーニングの内容やよかつた行動を中心に状況を細かく説明しています。
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか		6			・保護者のニーズはありませんが、積極的に声は掛けています。・親子参加での支援は行っていませんが、面談時に成長の見通しを共通理解し、アドバイスを行い理解・協力を得ています。
保護者への説明責任等					
30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6				
31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6				
32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	4		現時点では保護者会はありません。今後も利用者の声を聞き、要望があれば場所の提供等積極的に支援し、保護者会の開催に努めていきたいと考えています。
33 子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6				
34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6				
35 個人情報に十分注意しているか	6				
36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6				

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

【評価実施日：令和3年2月20日】

		はい	どちらともいえない	いいえ	該当事象がない	コメント
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			5	1	積極的に地域へ告知したり、招待したりはしていませんが、要請・要望があれば可能な限り調査受け入れ等にお応えしていきます。例えば、教室の防災訓練等で参加を促すなど同一歩調を図っていきたいと考え、自治会には継続的に加入しています。
非常時等の対応						
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知を図っているか	6				今回のコロナウイルスの対応の件など、事前にお知らせできるよう取り組んでいます。メールでの通知体制は構築されています。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6				3月9月に防災週間として、避難訓練等防災についてのトレーニングを行っています。(消防署と連携を図り、署員指導の下避難訓練を実施)
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど適切な対応をしているか	6				7月と1月の年2回虐待防止委員会を開催し、情報の共有と勉強会を実施しています。保護者との面談時には、虐待防止について啓発を行っています。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明了解を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載しているか	6				
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6				
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6				